

金研内からの WindowsVista の Windows Update を行う設定について

2008/4/7 版

情報企画室ネットワークオフィス

Tel:2450

imr-net@imr.tohoku.ac.jp

プロキシサーバのある環境で Windows Update を行った場合、設定を正しく行わないと更新の一覧は表示されるにもかかわらず、ファイルやプログラムのダウンロードが行えない状態になります。これまでは、メールアカウント申請時に ID、パスワードと一緒に配布する注意書きの中にそのことを記載してきたのですが、ファイアウォールの記録を確認すると、この設定をされていない PC がプロキシサーバを経由せずに、直接マイクロソフトのサーバと通信を行おうとして、通信を止められている状況が見受けられます。

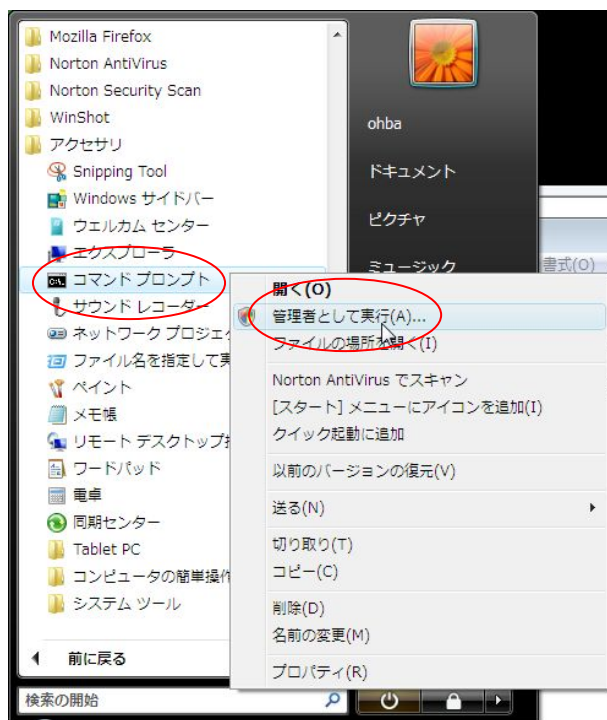
所内で利用する Vista のパソコンについては、このマニュアルを参考にして、Windows Update が正しく行えるように設定をお願いいたします。

なお、スパコンネットワークに接続しているユーザーの方は、計算材料学センターへ必要な設定をお問い合わせください

1. インターネットエクスプローラ(IE)を利用せずに WindowsUpdate 用の設定を行う場合 (1) 「左下のウィンドマーク」 → 「全てのプログラム」

→ 「アクセサリ」 → 「コマンドプロンプト」 を選択して右クリック。

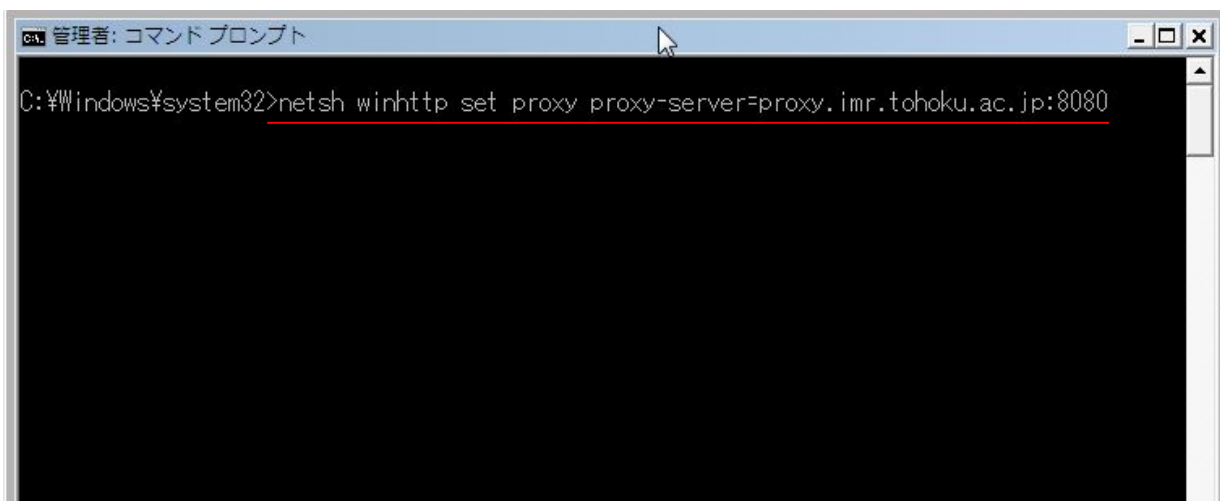
「管理者として実行」して、確認ダイアログが出たら「続行」をクリックする



(2) コマンドプロンプトで

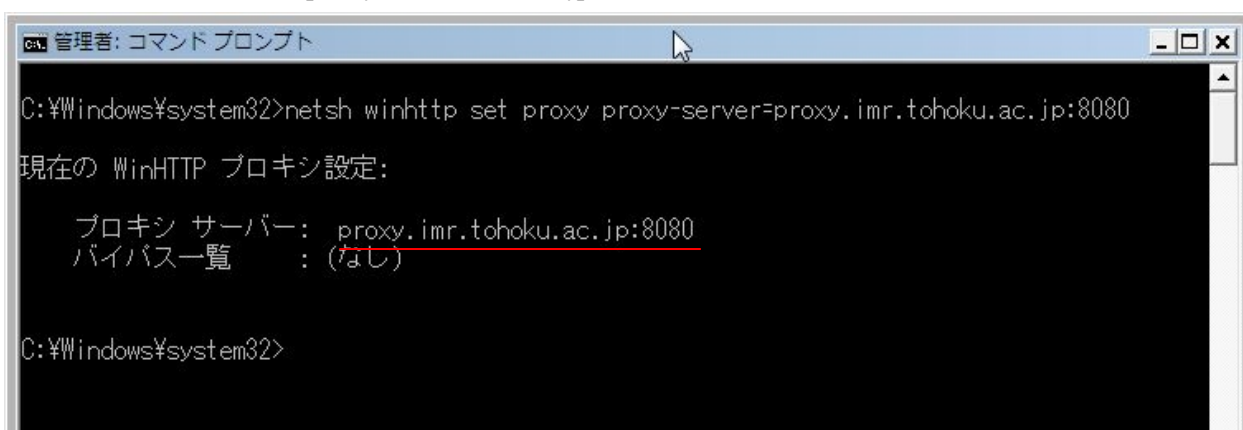
netsh winhttp set proxy proxy-server=proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080 (Enter)

※(Enter)はキーボードの Enter キー



```
管理: コマンドプロンプト
C:\Windows\system32>netsh winhttp set proxy proxy-server=proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080
```

「プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080」と表示が出れば設定は終了です



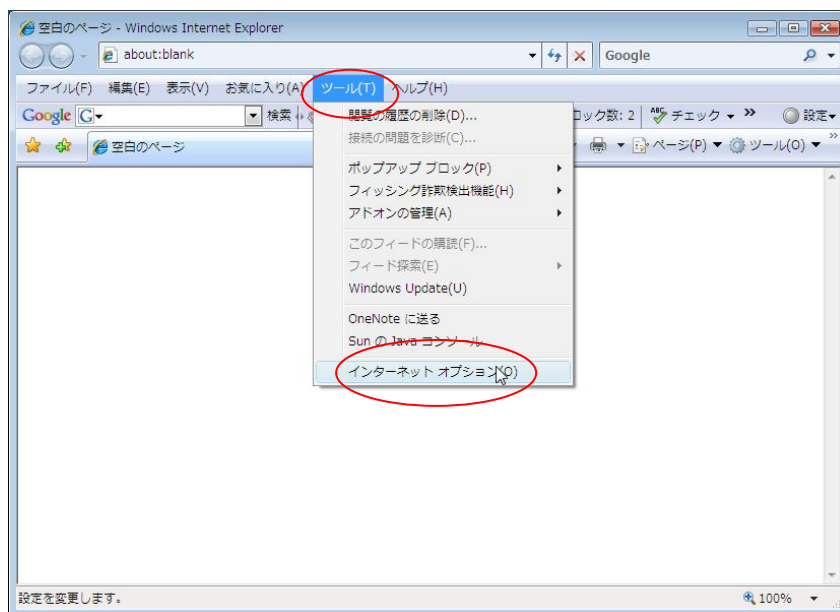
```
管理: コマンドプロンプト
C:\Windows\system32>netsh winhttp set proxy proxy-server=proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080
現在の WinHTTP プロキシ設定:
    プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080
    バイパス一覧      : (なし)
C:\Windows\system32>
```

2. インターネットエクスプローラ(IE)を利用して WindowsUpdate 用の設定を行う場合

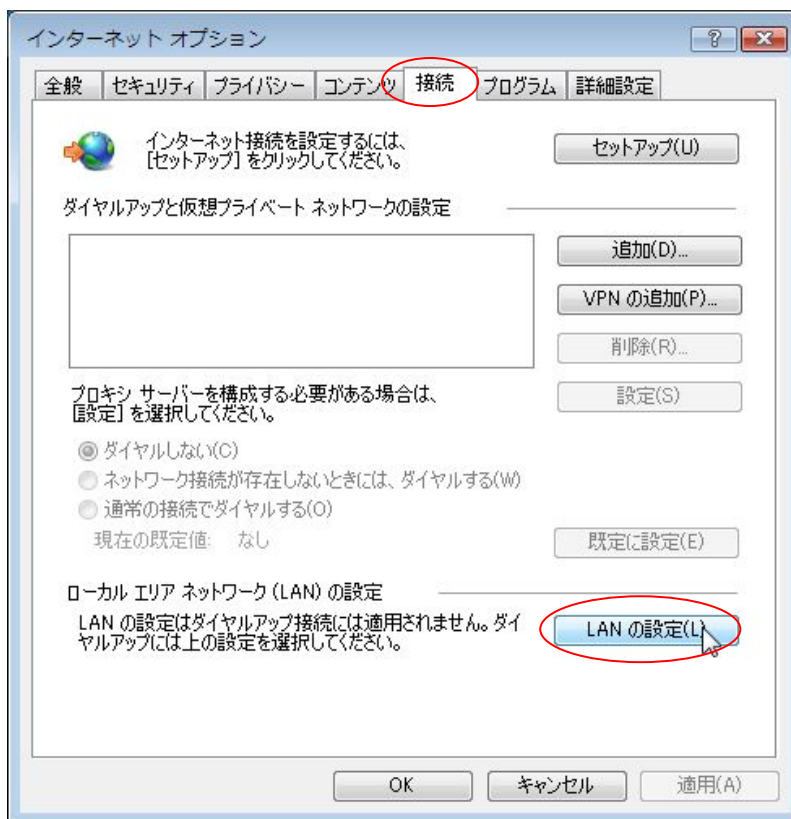
(1)IE の設定を確認する

「ツール」 → 「インターネットオプション」を開く

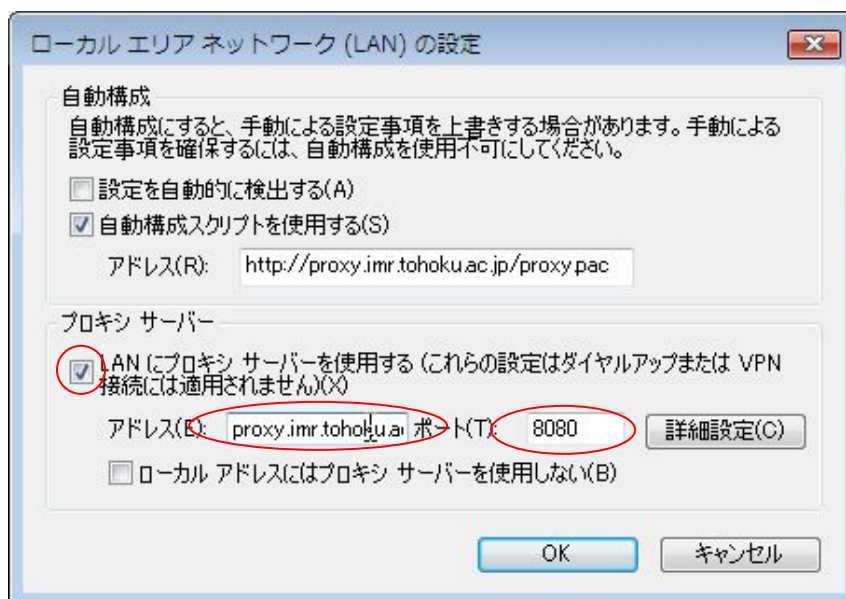
これは「コントロールパネル」の中の「インターネットオプション」でも同じです。



(2). 「接続タブ」 → 「LAN の設定を開く」を開く



(3). IE の設定を確認する



プロキシサーバの部分に

アドレス 「proxy.imr.tohoku.ac.jp」

ポート 「8080」

があるかどうかを確認、無ければ上記を入力する。

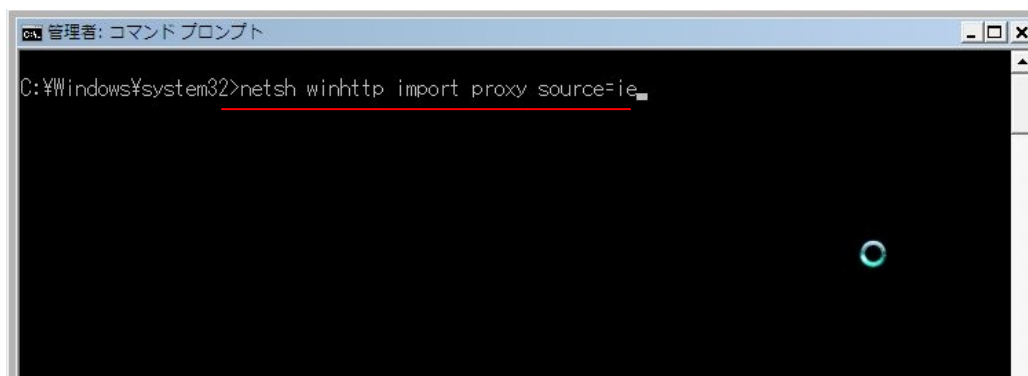
Vista の場合、上記内容の入力後にチェックを外して無効な状態(グレーアウト)にすると、WindowsUpdate 用の設定に転用できなくなりますので注意
(この挙動は XP と異なっています)

(4) 1-(1)と同じように「管理者として」コマンドプロンプトを起動する。

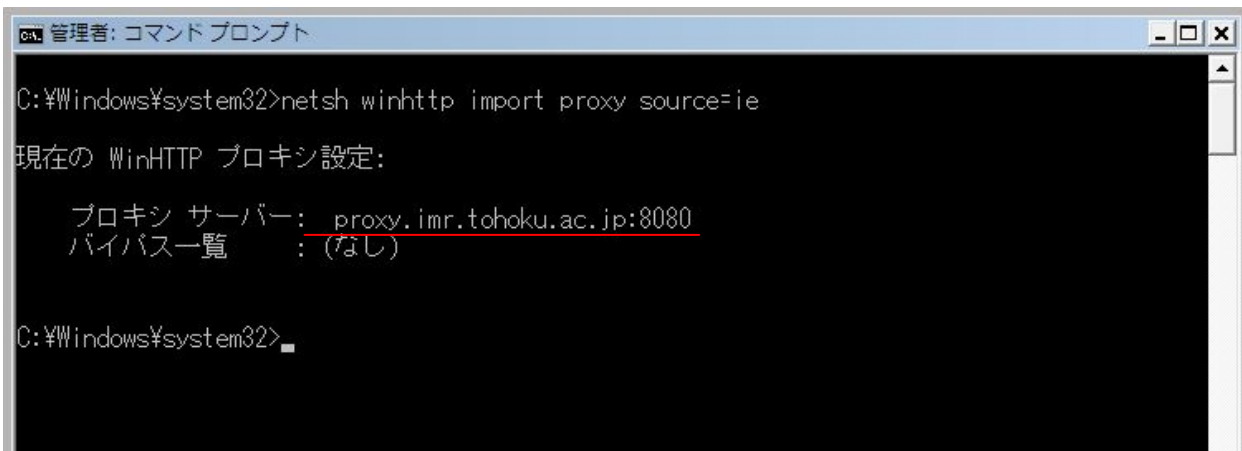
コマンドプロンプトで

```
netsh winhttp import proxy source=ie(Enter)
```

※(Enter)はキーボードの Enter キー



「プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080」と表示が出れば設定終了です。



```
ca. 管理者: コマンド プロンプト
C:\Windows\system32>netsh winhttp import proxy source=ie
現在の WinHTTP プロキシ設定:
    プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080
    バイパス一覧      : (なし)
C:\Windows\system32>
```

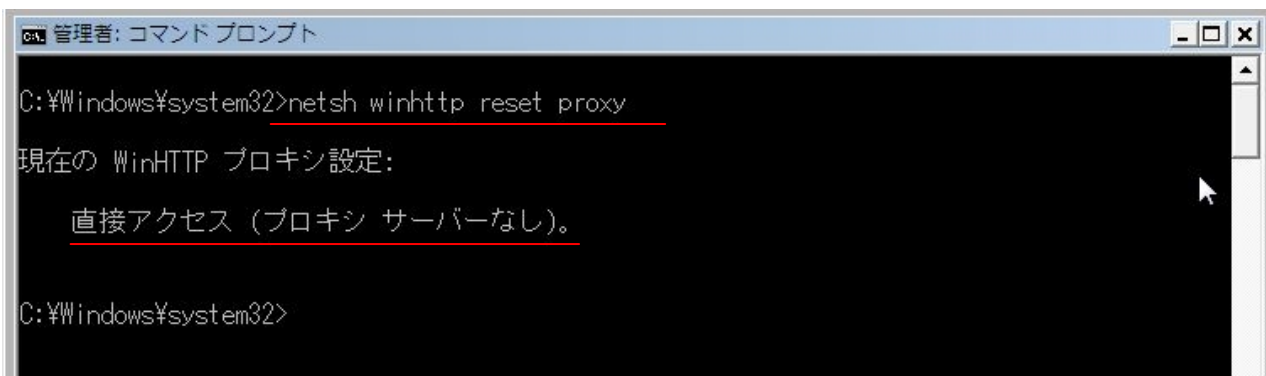
3. ノートパソコン等、金研の外で Windows Update が必要な場合の設定解除方法

1-(1)と同じように「管理者として」コマンドプロンプトを起動する。

コマンドプロンプトで

```
netsh winhttp reset proxy
```

※(Enter)はキーボードの Enter キー



```
ca. 管理者: コマンド プロンプト
C:\Windows\system32>netsh winhttp reset proxy
現在の WinHTTP プロキシ設定:
    直接アクセス (プロキシ サーバーなし)。
C:\Windows\system32>
```

で、上記の金研のプロキシサーバを利用するための設定を解除できます。

金研以外で、プロキシサーバの設定の不要な場所で利用する場合はそのように設定を行い、金研内に持ち込んだ後で、上記手順で再設定をするようにしてください。